西武鉄道 NEWS RELEASE

２０２６年１１月１１日

災害に強い沿線を目指し「２０２６年度 総合復旧訓練」を実施

～「線状降水帯による暴風雨」を想定した訓練により、さらなる安全の追求を目指します～

西武鉄道株式会社（本社：埼玉県所沢市、社長：小川 周一郎）では、２０２６年１１月１１日（水）、玉川上水車両基地（東京都東大和市）において、「２０２６年度 総合復旧訓練」を実施しました。

「総合復旧訓練」は、大規模災害による事故を想定し、災害が発生した際にも、お客さまの安全を最優先に、早期に復旧ができるように毎年実施している西武鉄道最大規模の訓練です。今年度は、８月に発生した令和８年８月千葉豪雨や９月に発生した台風２５号による大雨などを受け、**近年多発している「豪雨発生・倒木による線路支障」をテーマとした訓練を４年ぶりに実施しました**。

訓練では、運輸、電気、工務、車両各部門による災害発生時から復旧までの実技訓練に加え、災害時においても安心して駅をご利用いただけるよう、帰宅困難者への案内・誘導など、多角的な駅サービス提供訓練を実施しました。さらに、「被害者支援室」の対応訓練では設置から実際に被害に遭われたお客さまの対応までの手順を確認、その様子を公開しました。

また、本訓練には西武線沿線にある１２自治体の防災担当者にもご参加いただきました。

当社は、今後も「災害に強い沿線」を目指し、災害時に駅で地域住民や帰宅困難者等に対して、今まで以上に「安全・安心」を提供していくための取組みを推進してまいります。

詳細は、以下のとおりです。

1．訓練日時

２０２６年１１月１１日（水）１０時００分～１１時４０分

２．訓練想定

線状降水帯が発生し、局地的で猛烈な風雨、突風の影響により、西武線沿線では大きな被害が発生した。
新宿線新所沢～入曽駅間では、列車通過直前に倒木が発生し、踏切遮断機および架線金具を損壊し、線路を支障するに至った。また走行中の列車が当該倒木に接触し、車両スカート※の破損により運転不能となった。その衝撃で、列車内では多くのお客さまが負傷した。
沿線各所での運転見合わせにより、所沢駅では帰宅困難者が発生。あわせて SNS 上では事故に関するフェイク情報が拡散し、情報の混乱に拍車がかかっている状態である。

※車両の前面下部をカバーする部分のこと

３．訓練内容

・お客さまの避難誘導訓練
・災害発生時の駅対応訓練
・倒木撤去訓練
・走行不能車両の復旧訓練
・踏切遮断機倒壊復旧訓練
・電車線不具合発生に伴う復旧訓練
・復旧作業におけるデジタル活用訓練



・被害者に対する支援訓練
・SNS 偽情報対応訓練　など

４．訓練の様子

【運輸部による避難誘導訓練】
乗車中や駆け付けた社員およびお客さまの協力を得て、車両に設置した非常梯子などで、すべてのお客さまに降車していただき、最寄りの駅へ避難・誘導する想定で訓練を行いました。



【帰宅困難者に対する駅でのサービス提供訓練】
暴風雨により運転見合わせが発生し、帰宅困難となった方に対し、駅でのサービス提供を行いました。
駅係員による建物安全確認チェックリストによる駅舎内の安全性を確認したのち、備蓄品の配布およびスマートフォン充電サービス、駅ナカ・コンビニ「トモニー」商品（食料・飲料）の無償配布の手順を確認しました。



【工務部による倒木撤去訓練】
倒木した樹木を撤去し運搬しました。
樹木を積載できる長さにチェーンソーで切断し、ターンテーブルに載せて、モーターカーで運搬しました。
また、軌道状態に問題がないかを水準器を使用して確認を行いました。



【車両部による走行不能車両の搬送訓練】
前面スカートが損傷し車軸が損傷した車両を油圧ジャッキで持ち上げ、搬送台車を設置しました。また、破損した前面スカートをガス切断機を使用し切断することで、走行に支障がない状態に復す訓練を行いました。



【電気部による踏切遮断機倒壊復旧訓練】
倒壊した踏切遮断機を復旧させる訓練を行いました。
踏切遮断機は重量があるため、相互合図を行い設置します。配線作業の後、機能試験を行いました。



【電気部による電車線不具合復旧訓練】
外れたハンガー（トロリ線を吊るための金具）を
取り付け、ゆがみが生じたトロリ線を真っ直ぐにする
訓練を行いました。



【管理部による被害者支援室対応訓練】
被害者支援室とは、重大事故発生の際、関係機関と
連携し、事故に遭われた方やそのご家族へ迅速かつ
誠実に適切な支援を行うための窓口です。
訓練では、情報収集班と被害者対応班の２班に分かれ、
情報収集班は、自治体、消防、警察と連携し、
負傷者の情報や搬送先病院の情報等を収集しました。
被害者対応班は、現地で負傷者やそのご家族等に対して
搬送先病院などをお知らせし、寄り添う訓練を行いました。



【広報部による SNS 上フェイク情報対応訓練】
倒木事故に関して『列車が脱線して横転している』といった情報が多数拡散されたことにより、お客さまや報道関係者からの安否確認や詳細を問うお問合せが多く寄せられ、回線が逼迫している状況を想定しました。正しい事実関係を伝えるための『第一報』の作成や、報道機関への配信、当社 Web サイトトップページへの掲出手配、さらにお客さまセンターや駅との連携などの流れについてシミュレーションを行いました。

【復旧作業におけるデジタル活用訓練】

災害や事故、アクシデント発生時に「大量の情報を
時系列で整理」「テキストと画像を組み合わせて報告」
することで、多数の関係者が情報をリアルタイムに
把握することが可能なシステムを活用し、
本訓練でも、本システムを活用した情報伝達訓練を
実施しました。



５．訓練参加人数
西武鉄道：１０５名、西武バス：６名、
北多摩西部消防署：９名、沿線自治体１２自治体１８名

「西武グループサステナビリティアクション」

西武グループの経営理念である「グループビジョン」に基づき、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを「サステナビリティアクション」として推進しています。社会課題や当社の事業環境を踏まえて、特に取り組むべき６つのマテリアリティ（重要テーマ）を設定し、各種取り組みを進めています。
詳細ページ：https://www.seibuholdings.co.jp/sustainability/



◇お客さまのお問合わせ先
西武鉄道お客さまセンター TEL.０５７０－００５－７１２
音声ガイダンスのご案内により、メニューをお選びください。
［営業時間：９時～１７時（１２/３０～１/３を除く）］

以　上